

活用調査表

様式6

技術名	排水マット工法	登録 No.
		20D1012

施工内容

施工年度	平成22年度
発注機関	村上地域振興局地域整備部
工事名	一般県道岩船港線 地域連携 (県道改築)地下横断BOX工事
施工地	新潟県村上市上助湊地内
施工数量	約2.0m ³

新技術の概要

プラスチック廃材をペレット状にして特殊な加工技術により中空状に再生した材料を破れ難い不織布等で包むことで排水性・透水性に優れた土壌改良材として活用する排水工法である。

トライアル工事での評価結果

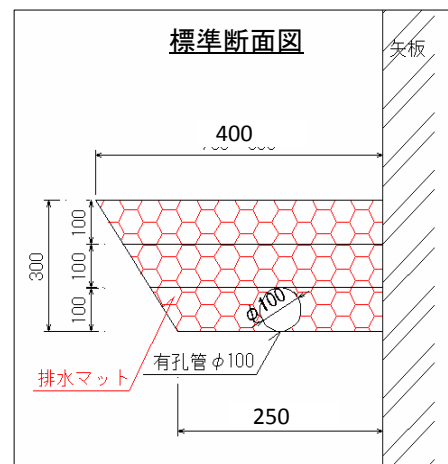
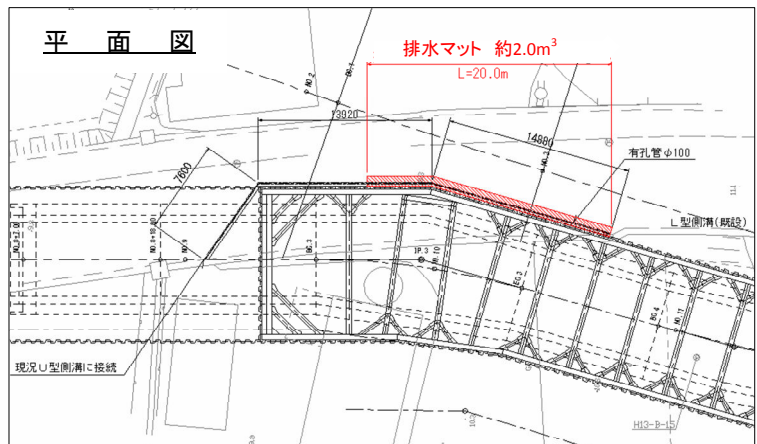
比較した従来技術		暗渠管+砕石敷きの排水工法
項目	評価	評価内容
経済性	△	今回のトライアル工事は本来想定した使用方法ではないため、単純な経済比較には適さない。
工程	◎	従来の砕石や遮水シートの敷設が不要な為、工期が半分になった。
品質出来形	□	砕石等の締固め管理が不要となった。
安全性	○	床掘以外は全て人力で出来るため、重機災害の危険性が減少し、騒音も少なくなった。
施工性	○	袋詰め現場に納入されるとともに、軽量であるため、取扱や施工が容易になった。また、熟練度に依存した作業が減った。
環境	○	重機施工が減り、騒音、振動、交通規制が減少する。また、施工が省エネルギーで済む。さらに、リサイクル材を使用し省資源化に貢献する。
その他		材料が軽量であるので人力で容易に取扱が出来る。

◎:優れている ○:やや優れている
□:従来技術と比べて同程度
△:やや劣っている ×:劣っている

活用上の留意点	取り扱いを丁寧にしないと袋が破れることがある。
---------	-------------------------

新技術問い合わせ先

会社名	株式会社 オリス
所属部課	技術創造部
担当者	小菅 忠行
TEL	025-283-5111



排水マット敷設前



排水マット敷設後